

# 議会だより

## No.55

令和元(2019)年5月10日

栃木県那珂川町



テーマ(集い)  
いきいき元気会のお花見

# さわがわ

○発行／栃木県那珂川町議会 ○編集／那珂川町議会広報特別委員会  
〒324-0692 栃木県那珂郡那珂川町馬頭555 電話0287 (92) 1170 e-mail gkaijij@town.tochigi-nakagawa.lg.jp

### 主な内容

3月定例会の結果	(2P～7P)
ここが聞きたい！ 一般質問(7人)	(8P～14P)
議会・委員会のごさぎ	(15P～17P)
キラリ☆まちおこし・編集後記	(18P)

# 空席の副町長に 内田浩二氏を 選任同意 (前栃木県職員、盛泉在住)

第1回  
定例会

# 新教育長に 吉成伸也氏を 任命同意 (前塩谷南那須教育事務所長、馬頭在住)

平成31年度当初予算

## 一般会計 81億円

前年度比1億6千万円1.9%減  
旧庁舎・小川庁舎解体工事が終了

平成31年第1回那珂川町議会定例会は、3月5日に開会し、会期を15日までの11日間と定め、一般質問のほか、条例改正、平成30年度補正予算、平成31年度当初予算の審査などを行いました。一般質問は、7人の議員が登壇しました。

今期定例会には、23議案が上程され、全ての議案が可決されました。

- ・ 町長提案 23件 : 人権擁護委員の推薦1件、定住促進住宅用地貸付条例の改正等の条例改正7件、条例廃止1件、平成30年度補正予算6件、新年度当初予算8件
- ・ 議会提案 2件 : 行政視察の議員派遣1件、陳情意見書の提出1件
- ・ 陳情 1件

人事案件

空席の副町長に

内田浩二氏

◆那珂川町副町長の選任

(全員賛成 原案可決)

平成30年4月1日より空席となっていた副町長に、内田浩二氏の新任を異議なく同意しました。

◇内田浩二氏 略歴

60歳、那珂川町盛泉在住

前栃木県職員、在籍38年

土木部・企画部、大田原土木事務所、矢板土木事務所、烏山土木事務所、企業局地域整備課長、県土整備部道路保全課長、同部都市計画課長。



内田副町長の就任挨拶

(4月19日全員協議会)

【モニターより】活字と写真の構成もバランス良く配置され、読者側に立っている。

小川教育長の辞職に伴い  
新教育長に吉成伸也氏

◆教育委員会教育長の任命

(全員賛成 原案可決)

3月31日付けで辞職する小川浩子教育長の後任に、吉成伸也氏の新任を異議なく同意しました。

◇吉成伸也氏 略歴

57歳、那珂川町馬頭在住  
前栃木県教育委員会職員、在籍34年

大山田小学校・烏山中学校教諭、南那須教育センター、南那須教育事務所、塩谷南那須教育事務所、荒川中学校長、片岡中学校長、塩谷南那須教育事務所長



吉成教育長の就任挨拶  
(4月19日全員協議会)

◆人権擁護委員の推薦

(全員賛成 原案可決)

薄井秀雄氏 (再任)

6月30日に任期満了となる薄井秀雄氏(小川)を再任して、法務

省に推薦することについて、異議なく賛同しました。

31年度当初予算

委員会

◆予算審査特別委員会の設置

(全員賛成 原案可決)

平成31年度当初予算審査のため、議員全員を委員とする予算審査特別委員会を設置し、本会議最終日の15日に審査結果を報告しました。

予算

庁舎解体工事終了などで

前年度比1・9%減

平成31年度当初予算は、予算審査特別委員会(石川和美委員長)で審議され、本会議では委員長から「全ての会計について可決すべき」と報告され、採決で全ての会計が可決されました。

一般会計は、旧庁舎・小川庁舎解体工事の終了で、前年度比1・9%減の81億円。

特別会計6会計は、ケーブルテレビ事業特別会計で小川庁舎解体

に伴う小川サブセンター整備工事の完了で65・5%減の2億2千万円など、6会計で48億7千万円。水道事業は3・7%減の6億9千万円で、一般会計、特別会計及び水道事業の全8会計で前年度比3・8%減の総額136億円となりました。

◆主な新規・拡充事業

- ・ 町民プール整備事業
- ・ 健康マイレージ事業
- ・ 新生児聴覚検査費用助成事業
- ・ 小川中学校校舎改修工事
- ・ 小中学校タブレット型パソコン導入
- ・ 消防団員自動車免許取得費補助
- ・ 空き家・高手の里モニターツアー事業
- ・ 地域づくり推進事業
- ・ 道路維持補修事業(拡充)

予算審査特別委員会

原案を可決すべき

4項目の付帯意見を付して

◆予算審査の状況

平成31年度の各会計予算は、予算審査特別委員会において、各課長等から予算内容の説明を受け、

5日間にわたり審査を行いました。

◎委員長 石川 和美  
◎副委員長 鈴木 繁  
◎委員 議員全員  
◎開催日(審査日)  
3月8日、11日、14日

予算審査特別委員会(3月13日及び14日)での採決状況

賛成:○ 反対:●

議案番号	会計名	議員名											
		福田 浩二	吹場 寿郎	大金 清	川俣 義雅	益子 純恵	小川 正典	鈴木 繁	益子 明美	大金 市美	川上 要一	阿久津武之	小川 洋一
議案第16号	一般会計	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	ケーブルテレビ事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	国民健康保険特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	後期高齢者医療特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	介護保険特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	下水道事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	農業集落排水事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※石川和美委員長は採決に加わりません。

【広報委員会より】限られた紙面の中で、写真の配置も考えながら構成しています。

◎審議結果

平成31年度の一般会計、特別会計6件及び水道事業の各会計予算は、いずれも可決すべき

◆付帯意見

1 移住定住促進について

移住定住促進を担当する係が新設されたことから、関係事業を効率的・効果的に進めるとともに、さらに結婚促進事業に取り組み、人口減少の歯止めを努められたい。

2 生ごみ堆肥化事業について

循環型社会の構築と南那須地区広域行政事務組合ごみ処理費負担金の軽減のため、生ごみ堆肥の商品化の実現に向けて努力されたい。

3 町民プール整備事業について

町民の健康増進と交流人口の増加を図るため、多目的・複合的視点からの施設となるよう整備を進められたい。

なお、事業実施にあたっては、進捗にあわせて議会と協議しながら進められたい。

4 ケーブルテレビ事業特別会計

及び下水道事業特別会計についてケーブルテレビの加入推進及び下水道の加入促進を図られたい。

平成31年度予算総額（一般会計、特別会計、企業会計） 136億624万円（前年比3.8%減）

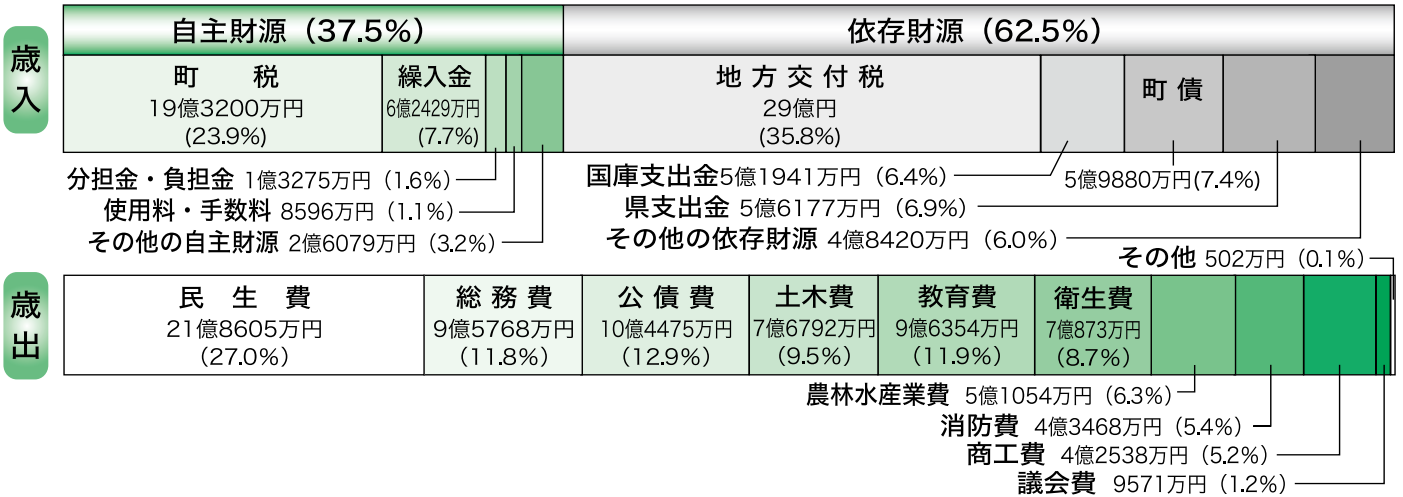
会計名	本年度予算額	対前年度比率
一般会計	81億0000万円	△ 1.9%
特別会計	ケーブルテレビ事業	2億2400万円 △ 65.5%
	国民健康保険	21億4200万円 2.5%
	後期高齢者医療	2億950万円 △ 0.7%
	介護保険	19億4500万円 ± 0.0%
	下水道事業	3億0000万円 △ 3.2%
	農業集落排水事業	5100万円 ± 0.0%
	計	48億7150万円 △ 7.3%

水道事業予算	収入	支出
収益的収入及び支出	4億4143万円	3億9771万円
資本的収入及び支出	1億8310万円	2億9327万円
計	6億2453万円	6億9098万円

一般会計の歳入財源内訳、性質別歳出内訳

歳入内訳		歳出内訳	
自主財源 37.5%		投資的経費 9.6%	
依存財源 62.5%		消費的経費 62.6%	
		その他の経費 27.8%	

平成31年度一般会計歳入歳出の内訳（総額81億円）



一般会計予算の町民1人当たり目的別予算額（前年度との比較）（単位：円）

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費	合計
5,870 (5,760)	58,739 (77,923)	134,080 (133,167)	43,470 (43,231)	31,314 (29,995)	26,090 (25,008)	
土木費 47,100 (49,736)	消防費 26,661 (26,832)	教育費 59,099 (48,497)	災害復旧費 1 (1)	公債費 64,079 (54,102)	予備費 307 (299)	496,810 (494,551)

上段が平成31年度  
下段が平成30年度

【モニターより】議会報告会での回答文言は、町民に対して言い切り文言で上から目線ようだ。

## 条例改正

### ◆手数料条例

(全員賛成 原案可決)

住民課に関する手数料で、減免する場合の根拠法令について「法令の規定により無料で取り扱う場合」と規定するもの、税務課に関する手数料で、公図に航空写真を重ねた地番図の交付手数料300円及び500円を追加するものです。

### ◆国民健康保険税条例

(全員賛成 原案可決)

国民健康保険法施行令の改正による課税限度額の引き上げ、及び軽減判定所得基準額の拡充に伴い、関係条例を改正するものです。  
課税限度額は、医療給付分の基礎課税額を54万円から58万円に引き上げ、軽減判定所得基準額は、被保険者1人当りの加算額が増額となります。

- ・ 5割軽減  
28万円 (改正前27万5千円)
- ・ 2割軽減  
51万円 (改正前50万円)

### ◆質問 課税限度額の引き上げによる税収の変化は。

による税収の変化は。

**答弁** 160万円程度の増収。  
**質問** 軽減判定の対象世帯数と軽減額は。

**答弁** 54世帯、71万円程度の軽減増。

### 《国民健康保険税課税限度額の改正》

	改正前	改正後
医療給付分	540,000円	580,000円 (+40,000円)
後期高齢者支援金等分	190,000円	190,000円 (改正なし)
介護納付金分	160,000円	160,000円 (改正なし)
1世帯当たり課税限度額	890,000円	930,000円 (+40,000円)

### ◆放課後児童クラブ条例(全部改正)

(全員賛成 原案可決)

定員(40名)を弾力的に運用で

きるよう、現行の放課後児童クラブ条例及び放課後児童クラブの実施に関する条例を整理統合して全部改正するものです。

**質問** 馬頭放課後児童クラブの人数は。

**答弁** 30年度55名、31年度希望者62名。

**質問** 放課後児童支援員の配置は。

**答弁** 一単位2名で4名。

**質問** 夏休みなどを考えて、支援員数も弾力的にできないか。

**答弁** 夏休みは支援員を増員する予定。

**質問** 仮設保育室は今後も使用するのか。

**答弁** 当面は仮設保育室を使用しながら2単位で実施していく。

**質問** 小川放課後児童クラブの状況は。

**答弁** 30年度40名、31年度希望者50名。

**質問** 小川放課後児童クラブも2単位で実施できないか。

**答弁** 委託事業者と協議している。

### ◆定住促進住宅用地の貸付に関する条例

(全員賛成 原案可決)  
高手の里の住宅用地利用促進の

ため、住所要件と建築業者の所在要件を緩和(削除)する改正を行うものです。

**質問** 町外者が定住して固定資産税を3年間免除する奨励金は、町民も該当するのか。

**答弁** 同様に考えている。

**質問** 条例は町民にも適用されるということか。

**答弁** お見込みのとおり。

## 補正予算

### ◆一般会計補正予算

(全員賛成 原案可決)

年度末を迎え、各種の事務事業費並びに、国県支出金、地方交付税、その他の収入が概ね確定したこと、及び平成31年度に繰り越すべき事業費が決定したことなどから、それぞれ、各会計において、年度末までの歳入及び需要額等を見越した精査で、事務事業の執行に必要な経費を補正するものです。

年度末を迎えるにあたり事業の完了あるいは完了見込みによる精査、清算により、減額分が2億5353万円、増額分が3億1353万円で、総額6000万円の増額となりました。

【広報委員会より】簡潔明瞭に要点だけを掲載していましたが、配慮したいと思います。

また、地方道路交付金事業（町道76号線等）や町道上郷須賀川線道路改良事業など4件1億1851万円が翌年度に繰り越されました。

【主な補正項目】

- ・減債基金積立金 2億1250万円
- ・武茂小中学校部分林管理委員会交付金に係る経費 1928万円
- ・畜産担い手育成総合整備に係る経費 △5157万円
- ・地方道路交付金事業に係る経費 △3100万円
- ・認定こども園臨時職員に係る経費 △2840万円
- ・後期高齢者医療に係る経費 △2793万円
- ・ケーブルテレビ事業特別会計繰入金 △2211万円 など

【主な繰越事業】

- ・地方道路交付金事業（町道76号線等）に係る経費 8318万円
- ・町道上郷須賀川線道路改良に係る経費 2153万円 など

質問

観光費の温泉ポンプ交換

工事は、どの温泉か。

【答弁】 まほろばの湯である。

【質問】 畜産担い手育成総合整備事業の県補助金が、5100万円減額の理由は。

【答弁】 牛の堆肥舎を1事業者が計画したが、国庫補助割当がつかなかった。

◆ケーブルテレビ事業 特別会計補正予算

◆国民健康保険特別会計補正予算

◆後期高齢者医療特別会計補正予算

◆介護保険特別会計補正予算

◆水道事業会計補正予算

（いずれも全員賛成 原案可決）

年度末を迎えるにあたり事業の完了あるいは完了見込みによる精査、清算により、5会計で総額8750万円を増額しました。

質問 ケーブルテレビ事業特会で、使用料減の世帯数と内容は。

【答弁】 基本料△80件、インターネット加入等△90件で△560万円となった。現在の加入者数は4647件。

質問 介護保険特別会計で、利用者の見込み数と実際の利用者数は。

【答弁】 サービス利用者は月によって変動し、30年度利用率は

95%でおおよそ100名減。

【質問】 100名減の理由は。

【答弁】 65歳以上の高齢者は増えているが、サービスを利用しない元気な高齢者も増えたと推測される。

平成30年度一般会計及び特別会計の補正予算の内訳

（単位：千円）

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	8,375,000	60,000	8,435,000
ケーブルテレビ事業特別会計	650,200	△74,000	576,200
国民健康保険特別会計	2,117,195	143,600	2,260,795
後期高齢者医療特別会計	211,000	3,600	214,600
介護保険特別会計	1,954,884	8,000	1,962,884
水道事業会計	323,800	6,300	330,100

議員派遣

◆議員行政視察

（全員賛成 原案可決）

- ・派遣場所 島根県海士町及び、邑南町
- ・派遣日時 6月18日～20日
- ・派遣議員 全議員

陳情・意見書

◆精神障害者に身体・知的障害者同等の福祉サービスの適用を求め陳情

陳情者

クローバーハーツ癒しの夢工房 代表 植村健一氏

審査経過

教育民生常任委員会に審査付託 審査日 3月6日

審査結果 採択（全員賛成）

◆精神障がい者も栃木県重度心身障害者医療費助成制度の対象にすることを求める意見書の提出

（全員賛成 原案可決）

「精神障害者に身体・知的障害者同等の福祉サービスの適用を求める陳情」の採択に伴い、栃木県知事に意見書を提出することを決定しました。

【モニターより】 議会報告会で要望した案件を町当局へ質問、要望し、明確な答弁を得て議会だよりで報告できるといい。

# 第1回定例会(3月7日及び15日)の議案採決の状況

賛成:○ 反対:●

議案の内容		議員名	福田浩二	吹場寿郎	大金清	川俣義雅	益子純恵	小川正典	鈴木繁	石川和美	益子明美	大金市美	川上要一	阿久津武之
議案第1号	人権擁護委員の推薦意見について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	那珂川町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	那珂川町手数料条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	那珂川町税条例等の一部を改正する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	那珂川町国民健康保険税条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	那珂川町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	那珂川町放課後児童クラブ条例の全部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	那珂川町定住促進住宅用地の貸付に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	那珂川町生活支援ホームヘルパー派遣事業の実施に関する条例の廃止について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	平成30年度那珂川町一般会計補正予算(第3号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	平成30年度那珂川町ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第2号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	平成30年度那珂川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	平成30年度那珂川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	平成30年度那珂川町介護保険特別会計補正予算(第3号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	平成30年度那珂川町水道事業会計補正予算(第2号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	平成31年度那珂川町一般会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	平成31年度那珂川町ケーブルテレビ事業特別会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	平成31年度那珂川町国民健康保険特別会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	平成31年度那珂川町後期高齢者医療特別会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	平成31年度那珂川町介護保険特別会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	平成31年度那珂川町下水道事業特別会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	平成31年度那珂川町農業集落排水事業特別会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	平成31年度那珂川町水道事業会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第1号	議員の派遣について	委員長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第1号	精神障害者に身体・知的障害者同等の福祉サービスの適用を求める陳情書について	委員長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第2号	精神障がい者も栃木県重度心身障害者医療費助成の対象にすることを求める意見書の提出について	委員長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

\*小川洋一議長は採決に加わりません。

【広報委員会より】本会議での一般質問だけでなく、常任委員会でも機会あるごとに意見や要望を伝えています。議会だよりでも、お知らせできるよう努力していきます。

# 一般質問！ 鈴木 繁議員

## 平成31年度の町政運営はどのように

### (町長) 6つの基本目標達成に向けて取り組む



鈴木 繁議員

- Q 平成31年度町政運営について
- Q 那珂川町まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- Q 防災情報の発信について
- Q 国道293号整備について

まち・ひと・しごと創生総合戦略

**質問** 平成31年度は計画の最終年度になる。進捗状況を伺う。

**答弁** 42事業で、一部を除いて着手又は着手予定となっている。KPI（重要業績評価指数）の設定が実態と合わないケースもあり、見直しを図って進捗率の向上に努めていきたい。

**質問** KPI設定が実態と合わない具体的な理由は何か。

**答弁** 適切な目標値が設定できなかった。周知不足など未達成の要因もさまざまである。

**質問** 平成31年度は、計画した全ての事業に取り組むのか。

**答弁** 宅地造成事業について、子育て支援住宅整備事業を優先していることから未着手になる。

防災情報の発信

**質問** 聞こえにくい地域が多いが屋外拡声装置を増やす考えは。

**答弁** 今後、現地調査等を踏まえて検討していきたい。

**質問** アンケート調査の実施や、放送内容が確認できる電話音声案内サービスについて伺う。

**答弁** アンケート調査は、現状確認に有効と考える。

電話音声案内サービスは、屋内告知機に録音機能があるので検討はしていない。

**質問** 町民への緊急放送を含め、情報伝達について町の考えを伺う。

**答弁** 放送内容は公共的なものとして、大雨等の災害では屋外スピーカーでは聞こえにくいいため、屋内告知機による情報伝達が有効と考えている。

**質問** 平成29年度9月定例会で一般質問した、音声告知機の全戸無料配布について、その後の検討結果を伺う。

**答弁** 第3次那珂川町地域情報化基本計画で、今後、全線光ケーブルによるFTH方式で整備し、機器等の更新も幹線整備とあわせて行うこととしており、第2次那珂川町振興計画後期計画の期間中として、平成36年度事業完了を目標としていきたい。

国道293号整備

**質問** 国道293号の整備状況を伺う。

**答弁** 改良が必要な箇所は、矢又地区約2km、三輪地区約3kmで、計画があるのは三輪地区と聞いている。

**質問** 東戸田付近（三輪地区）から約3kmの歩道未整備区間についての考えを伺う。

**答弁** 東側旧道との合流点から那須烏山方面900m区間は片側歩道、残りの2100m区間は、両側に歩道に代わる幅1・75mの「ゆうゆう路肩」で整備されると聞いている。

**質問** 三輪工区の工事時期について伺う。

**答弁** 那須烏山市川井地区の終了後に予定していると聞いている。

**質問** 交通量が多い国道293号の整備について、町はどのように要望をしているのか。

**答弁** 国道293号整備促進期成同盟会を通じて、三輪地区と矢又地区を要望した。今後必要に応じていく。

平成31年度町政運営

**質問** 31年度の重点施策を伺う。

**答弁** まちづくり3大重点プロジェクトの定住や、町外からの移住促進、新しい人の流れ創出推進プロジェクトに取り組んでいきたい。

**質問** 財政状況が厳しい中、新規事業と継続事業のバランスをどのように考えているか。

**答弁** 重要施策を初めに、優先順位を見極めながら効率的かつ効果的な行政運営に努めていきたい。



# 放射能ゴミ搬入は町民の安全こそ心配すべき

(町長) そういつく考えの議員がいると認識する

「就学援助」利用の後押し

**質問** 共産党は、町へ毎年の予算要望で、「就学援助制度について全保護者に知らせ、制度を充実させること」を要求してきたが、いつ、どのように保護者に周知するのか。

**答弁** 来年度、全児童、生徒の保護者に周知する。

**質問** 準要保護世帯の基準はどうなっているのか。

**答弁** 町民税非課税、国民年金減免世帯などが該当する。

**質問** 就学援助を申請しやすいよ



川俣義雅議員

う、全保護者が学校に返答するようにはしてはどうか。

**答弁** 今のところ考えていない。

教職員の長時間勤務改善

**質問** 長時間労働の歯止めが超過勤務手当だが、教員には支給されているのか。

**答弁** 支給されていない。

**質問** 町内の教員の勤務実態はどうなっているか。

**答弁** 県の調査によると、1日平均4時間以上の超過勤務教員が約2割いる。

**質問** 現在、教員の授業持ち時間数はどうなっているのか。

**答弁** 平均で週に中学校は20時間、小学校は26時間となっている。

**質問** 長時間勤務が常態化してきた原因は。

**答弁** 教員免許の更新や研修の増加がある。

**質問** 全国学力テスト、道徳の教科化、小学校への英語の導入、特

色ある学校づくり等が超過勤務の原因になっている。県独自の学力テストを5県がやめている。町が実施している学力テストをやめることはできないか。

**答弁** 他県の様子や子どもの変容など検証しつつ検討課題としたい。

馬頭処分場への放射性物質に汚染された廃棄物の搬入

**質問** 受け入れ放射能濃度を4000ベクレルから2000ベクレルの基準にすると「相当コストがかかる」との根拠は何か。

**答弁** 一般論として、搬入レベルが下がれば費用がかかる。

**質問** 心配すべきはコストではなく、町民の安全ではないか。

**答弁** そういつく考えの議員がいると認識する。

**質問** 納入基準を2000ベクレルとして、協定を変更できないか。

**答弁** ご意見として伺っておく。

**質問** 県内にある指定廃棄物を馬頭処分場に受け入れとなる可能性があるかと考えるが、町長の見解は。

**答弁** 指定廃棄物は受け入れない

と約束を取り付けている。

**質問** 国が方針を変えて、那珂川町に埋め立てるとなっても断固拒否するか。

**答弁** たらればには答えられない。

**質問** 指定廃棄物とされたものは入れないと協定書に書き加えることに、何の矛盾もないのではないか。

**答弁** 馬頭処分場は放射性汚染物質の処分場ではなく、産業廃棄物の最終処分場である。

**質問** 県と町に190件の意見が寄せられたが、納得、理解したとの意見はあったのか。

**答弁** その後、意見はないので、納得いただいていると思っている。

**質問** 理解のためにも、住民説明会を開いてもらいたい。

**答弁** 工事の進捗状況に合わせて、県と調整して説明していきたい。

**質問** 町政懇談会の開催予定はあるか。

**答弁** 任期中に必ず行いたい。

ここが聞きたい

## 一般質問！ 川俣義雅議員

Q 「就学援助」利用の後押しについて

Q 教職員の長時間勤務の改善に向けて

Q 馬頭処分場への放射性物質に汚染された廃棄物の搬入について

# 一般質問！ 石川和美議員

## 観光事業推進のため自転車ロードレース開催を

### (町長) 開催方法を把握してから検討する



石川和美議員

- Q 小川出張所の現状と今後について
- Q イノシシ捕獲について
- Q 観光事業推進について
- Q 水道事業の今後について
- Q 太陽光発電設備の設置における施工条件について

ルートは、お年寄りには都合のよい形態ではない。アンケートの取り方を含めて検討したい。

#### イノシシ捕獲

**質問** 農産物の被害を防止する本来の目的を達成するため、買入価格を過去の水準に上げるべきではないかと思うが。

**答弁** 捕獲者で構成する八溝ししまる捕獲連絡協議会と協議し、検討していきたい。

**質問** 狩猟者のモチベーションを維持させるために、イノシシ捕獲の奨励金制度の設置について伺う。

**答弁** 平成31年度から有害鳥獣捕獲強化事業費補助金交付要領を制定し、加工施設に搬入しない個体に、1頭あたり6千円を交付する。

#### 観光事業推進

**質問** 来町者から二次交通の不便

さを指摘されているが、対策は。

#### 答弁

レンタカー利用者へのキャンセルキャンペーンを実施したが、利用者は3組だった。今回の結果を踏まえ、他市町の取り組みを参考に検討していきたい。

#### 質問

自転車ロードレースの運営者から当町での開催提案が出たが、町はどう考えるか。

#### 答弁

開催方法を把握してから、開催できるかどうかを考えていきたい。

#### 質問

町のPRのため公費で名刺を作り、議員と町職員に使用させて、観光推進や知名度向上を図ってはどうか。

#### 答弁

公費負担の観点から検討していきたい。広重作品の共通板を使用するシステムも考えるに値すると考える。

#### 水道事業の今後は

#### 質問

老朽配管の布設替えや利用者減少に伴い、料金値上げの考えを伺う。

#### 答弁

水道事業経営戦略で、今後10年間、毎年2億円程度の施設更新でも現行料金で維持できる見通

し。水道料金改定は、経営状況に応じた経営戦略の見通しで時期を検討していきたい。

#### 質問

施設管理や料金徴収などの実務を民間に委託する「コンセッション方式」の計画はあるのか伺う。

#### 答弁

地形的に不利な那珂川町では、施設の維持管理費や更新費用から採算が取れず、業者委託は難しいと考える。

#### 太陽光発電設備による災害防止に

#### 質問

太陽光発電設備の設置による土砂流出などの災害を防止するため、設置の指導や監視をどのように行っているのかを伺う。

#### 答弁

国のガイドラインや県の指導指針により設置運営するよう指導しており、県と町で安全パトロールを実施し、不適切関係については改善指導をしている。

#### 質問

実際に災害が発生していることから、設置許可条件を設定したかどうか。

#### 答弁

他市町の条例等を参考に、庁内で協議・検討したい。

#### 小川出張所の設置で

#### 質問

レイアウトや住民対応、設置場所などの課題や問題はないか。

#### 答弁

座って申請ができるローカーウンターの採用、明るく環境に優しいLED照明にし、親切な対応を心がけ、おおむね好評である。

#### 質問

バス停留所からは距離があつて苦痛を覚える方もいる。バス運行利用のアンケートを取ってはどうか。

#### 答弁

コミュニティバスの運行

# まち・ひと・しごと創生総合戦略の成果と今後の取組は

## (町長) 39人の新規雇用を創出、子育て支援住宅整備事業の推進

### まち・ひと・しごと創生総合戦略

**質問** 5年間で27人以上の安定した新規雇用の創出について伺う。

**答弁** 平成29年度までに39人の新規雇用を創出した。

**質問** 人口ビジョンの将来展望により、転出超過数を141人に回復させることについて伺う。

**答弁** 平成29年度の転出超過数は183人で増加している。

**質問** 人口ビジョンの将来展望により、合計特殊出生率を1・4に回復させることについて伺う。

**答弁** 出生者数の推移から、成果目標を達成できないと考えられ



大金 清議員

る。

**質問** 町民意識調査において、町民の現状についての評価中、「満足している」「やや満足している」の割合を伺う。

**答弁** 平成31年度事業の中で、町民の意識調査を実施したい。

**質問** 成果目標4項目の今後の取り組みを伺う。

**答弁** 第2次町総合戦略策定時に、未達成の項目について原因を十分に分析し、事業やKPI設定の見直しを図りたい。

**小中学校のいじめ・不登校・体罰等**

**質問** いじめに対する学校での今後の取り組みについて伺う。

**答弁** 教職員全員の共通理解、保護者の協力、関係機関等の連携が必要であり、今後とも、早期発見や早期解決、未然防止に向けて対応して行きたい。

**質問** 不登校児童・生徒の学校での現状と今後の取り組みについて

伺う。

**答弁** 臨床心理士を配置し、スクールソーシャルワーカーとして、不登校児童・生徒の相談や家庭訪問、学校と家庭をつないでいる。

不登校傾向を含む児童・生徒数は減少傾向にあるが、今後とも一層児童・生徒に寄り添い、不登校にならないよう努めていきたい。

**質問** 不登校の児童・生徒は現在、何人いるのか伺う。

**答弁** 不登校傾向を含む不登校児童・生徒数は、全体で20人程度。

**質問** 児童・生徒に対する体罰防止等の学校での現状と今後の取り組みについて伺う。

**答弁** 体罰は児童・生徒への心身に深刻な影響を与え、ともに、児童・生徒に力による解決方法として、いじめや暴力行為などの連鎖を生む恐れがあり、いかなる場合も行ってはならないと、教職員に体罰防止を徹底し指導しております。

当町には体罰の案件はないが、今後とも一層の意識付けをしていきたい。

**質問** 現状で、小・中学校でのい

じめはあるか伺う。

**答弁** 小学校で6件、中学校で24件、すべて解消している。

**小中学校の給食**

**質問** 一食当たりの摂取カロリーは。

**答弁** 小学校で640キロカロリー、中学校で830キロカロリーを基準としている。

**質問** 給食を残す量は。

**答弁** 29年度は小学校で8・1%、中学校で5・7%。

**質問** 残食の処理方法を伺う。

**答弁** 生ごみ堆肥化モデル事業で処理している。

**質問** 給食費の無償化への検討状況について伺う。

**答弁** 検討を要すべき課題も多く、今後県内や隣接市町の動向を見極めながら、調査研究をしていきたい。

**質問** 国において、給食費の無償化の検討が始まったが、完全無償化を実施できなくても、せめて半額ではどうか。

**答弁** 国の動向などを調査研究し、検討していきたい。

ここが聞きたい

## 一般質問!

## 大金

## 清議員

Q まち・ひと・しごと創生総合戦略について

Q 小中学校のいじめ・不登校・体罰等について

Q 小中学校の給食について

# 一般質問！ 小川正典議員

## 馬頭地区の小学校2校の在り方は

(教育長) 児童が減少するが両校とも存続させる



小川正典議員

### 小中学校の在り方

**質問** 馬頭小学校・馬頭東小学校は5年後に100名の児童が減少する見込みであり、今後の両校の在り方について伺う。

**答弁** 両校合わせて、394名が在籍しており、5年後は294名となる見込みである。

馬頭東小学校は、現在73名在籍として、5年後は60名台を推移することから、両校とも存続させる考えである。

**質問** 小川小中学校を、児童・生徒の学力向上を目指した小中一貫

- Q 小中学校の在り方について
- Q デステイネーションキャンペーンについて
- Q 資源ごみの回収について
- Q 町の合併について

校にする考えがあるか伺う。

**答弁** 平成27年度から、スローステップという、小中一貫教育より広い概念で、小中学校の連携取り組みを行う小中連携教育をしている。当町の子供にとってより良いものは何かを、今後、調査研究して検討していきたい。

**質問** 廃校になった薬利小学校・武茂小学校の校舎の活用状況と今後の利活用について伺う。

**答弁** 旧薬利小学校は、大学生が1カ月程度使用しているが、恒常的な利用には至っていない。旧武茂小学校は、利用者がいない場合は取り壊すことになるが、他の建物を含め、施設全体の新たな形態での利用方針を決定したい。

**質問** 旧武茂小学校校舎の裏側にある特別教室を、武茂投票所として活用する考えがあるか伺う。

**答弁** 県議選は旧武茂小に付随する体育館を利用する方針で決定している。

### アフターDC

**質問** 今年のゴールデンウィークは10連休となり観光集客の絶好のチャンスと思うが、アフターDCを含めた集客増加の具体策を伺う。

**答弁** 温泉トラフグをPRするために、異なる調理方法の5店舗から選ぶ『なかチョイス』と、鷲子山上神社の『ふくろうがいつぱい展』を予定している。

**質問** 八溝ししまると里山ホンモロコを使用した1500円程度の価格で食事を提供する予定があるか伺う。

**答弁** 店舗によっては、1700円前後で提供する予定である。

### 資源ごみの回収

**質問** 地域の資源ごみ回収事業内容と町の支援策を伺う。

**答弁** 平成30年2月現在で7団体4万5千キログラム、小学校3校で1月現在919キロを回収した。団体には1キロ当たり5円の報奨金を交付している。

**質問** 回収した4万5千キロを金額換算した金額は。

**答弁** およそ211万円になる。

**質問** 回収の参加団体を増やす取り組みを伺う。

### 町の合併

**質問** 当町の人口は25年後には1万人を割ると那珂川町人口ピジョンで推計されている。一方、総務省の推計は20年後に1万人になるとされており、この人口減に対して町長の所見を伺う。

**答弁** 多くの方に町の良さや各種制度を知っていただき、この町に住んでいただけるような施策を重点的に取り組み、人口減少に歯止めをかけたい。

**質問** 近い将来近隣の他市と合併を検討していく考えはあるか伺う。

**答弁** 行政、議会、町民が一体となつて、那珂川町独自の町づくりを進めていきたいと考えているので合併の検討はしていない。

# 県内初の子育てに特化した住宅としてのPRを

## (町長) 第三者機関による子育てに良い住宅の

### 認定を積極的に活用していく

子育て支援住宅整備事業

**質問** 子育て支援住宅建設の進捗状況を伺う。

**答弁** 4月に業者選定、基本協定締結、来年2月完成、同3月に入居と考えている。

**質問** 建築メーカーの手抜き工事が騒がれているが、安心・安全のためにチェック体制を明文化してはどうか。

**答弁** 専門的知識・経験を持つ方が確認検査をするための体制を整えたい。

**質問** 経年劣化を考え、将来入居



益子純恵議員

要件の緩和を検討すべき。

**答弁** 状況が変われば検討も必要になると考える。

**質問** 子育て世代からの意見要望や反映した内容は。

**答弁** 防犯・防音対策、子供に安全な子育て支援施設などがあり、仕様書に反映した。

**質問** ミキハウス子育て総研の認定制度を受けることの議会からの提言についてはどうなったか。

**答弁** 完成までに第三者機関による子育てにより住宅の認定を受けるよう仕様書に記載した。

**質問** 住宅の名称は町民から公募すべきでは。

**答弁** 完成までに公募する形で進めたい。

**質問** 定住に向けた支援として宅地分譲の計画はあるか。

**答弁** 宅地分譲のための計画を順次進めていく。

**質問** 宅地分譲は、子育てしやすい環境を検討すべきと考えるが。

**答弁** 生活の利便性が得られる場

所を選定すべきと考えている。

移住定住促進のPR

**質問** 移住・定住対策への取り組みの状況は。

**答弁** 様々な活動を行ってきた。今度さらにPR活動を強化し、移住・定住の促進につなげていきたい。

**質問** ふるさと回帰支援センターに自治体として団体登録して、連携が必要なのではないか。

**答弁** ふるさと回帰支援センターを移住・定住の拠点として位置づけ情報発信力を強化したい。

**質問** 県のWORKWORK(わくわく)就職推進プロジェクトに対し、町としても取り組むべきではないか。

**答弁** 今後、補助制度に要する要綱を定め、6月補正予算で対応したい。

若い世代、特に※AYA世代のがん検診の受診促進に向けた取り組み

**質問** AYA世代のがん検診の対策者は。

**答弁** 対象年齢は胃・肺・大腸・子宮頸・乳がんの5種類について全て20歳から。

**質問** 未就学児を持つ世代が安心して受診できるような取り組みが必要ではないか。

**答弁** 事前の連絡で検診機関の職員が対応する。

**質問** 乳児検診などの際、保健師から検診への声掛けをしてはどうか。

**答弁** 検診等で声掛けができるので、関係課と協議し取り組みたい。

**質問** 未成年への早期啓発の取り組みを伺う。

**答弁** 学校におけるがん教育指導者の育成や知識の普及啓発など今後研究していく。

**質問** AYA世代に発生するがんとして白血病があるが、スクリーニング検査は実施しているのか。

**答弁** 小学6年・中学2年生を対象に実施している。

**質問** 町として取り組む体制、考えを伺う。

**答弁** がん治療を受けた人たちが安心して社会復帰できる支援策・早期発見についての施策を考えていきたい。

※AYA(あや)世代…思春期と若年成人の世代

ここが聞きたい

## 一般質問！ 益子純恵議員

Q 子育て支援住宅整備事業について

Q 移住定住促進のための町外へのPRについて

Q 若い世代、特にAYA世代のがん検診の受診促進に向けた取組みについて

# 一般質問！ 益子明美議員

## がん患者医療用ウィッグ(かつら)等購入費助成を

(町長) 心理的サポートを含めた

※アピアランスケアも含め研究



益子明美議員

- Q がん患者医療用ウィッグ等購入への助成制度の創設を
- Q 児童虐待対応をめぐる現状と課題について
- Q 高齢者と障がい者に対する虐待への対応と相談事業について

**質問** がん患者医療用ウィッグ等購入助成制度の創設を

**質問** がん対策基本法において、がん患者が尊厳を保持しつつ安心して暮らすことのできる社会の構築を目指すことを基本理念とし、地方公共団体は、がん患者の療養生活の質の維持向上のための施策を講じるものと明記されている。

がん患者が社会に参加し、就労を継続できるように、医療用ウィッグ等購入費の助成制度を創設すべきと考えるが。

**答弁** がん患者ががんと共に生きていくために、治療やこれからの人生に前向きになれるよう医療スタッフや臨床心理士など心理面を含めた外見ケア対策が今後進んでいくと思われる。

がん相談支援センター等の考え方を参考に、県内の実施状況も踏まえ対応していきたい。

**質問** がん患者の社会参加を応援するため、国や県に統一された助成制度の創設を国や県に要望すべきでは。

**答弁** 公平性のある助成制度の創設を含めた体制整備を町村長会議の中で要望していきたい。

※アピアランスケア

医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア。

(国立がん研究センター中央病院 HPより引用)

**児童虐待対応の現状と課題**

**質問** 昨年7月に政府は「児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策」を策定し市町村の体制強化を求めた。

乳幼児健診未受診者や未就園児、不就学児等の緊急把握は行っているか。

**答弁** 昨年8月に実施し、対象者はいなかった。

**質問** 児童福祉士等の資格がある児童家庭相談員を早急に設置し体制強化に努めるべきではないか。

**答弁** 人件費に対する国の財政措置などを活用し、早急に検討していきたい。

**質問** 相談体制強化策として、子ども家庭総合支援拠点の設置についての考え方を伺う。

**答弁** 昨年、国の児童虐待防止対策体制総合強化プランが決定され、2022年度までに設置することが目標とされた。町でも検討を始めたところであり、子育て世代包括支援センターと一体的に設置することを検討している。

**質問** 課題として、出産後の養育について出産前に支援を行うこと

が必要と認められる特定妊婦への対応と予防策を伺う。

**答弁** 若年の妊娠や望まない妊娠などを防ぐため、小中学校を対象として思春期教室を実施しており今後、教育の中でもより進めていきたい。

高齢者と障がい者に対する虐待への対応と相談事業

**質問** 暮らしのガイドブックには、相談窓口が掲載されていないが、どのような相談対応がされているのか。

**答弁** 健康福祉課で対応しており、平成30年5月からは地域包括支援センターが本庁内に移転し、専門職も一体となった相談対応が行われるよう体制を整備している。

また、昨年4月から福祉の相談窓口である福祉相談センターを町内3ヶ所に整備し、その中で虐待への対応も行っている。

**質問** 町広報誌で、よりわかりやすく、無料相談案内をまとめて掲載してはどうか。

**答弁** よりわかりやすい相談内容、日時等を工夫し、お知らせできるようにしたい。

# 「議会報告会」名称改め、 『町民と議会との意見交換会』 を開催します

議長を除いて12名の議員が2班に分かれ、各会場で皆様のご意見ご要望をお聞きします。  
各会場では、グループ分けをして車座で懇談いたします。  
都合のよい会場にお越しください。

- |     |          |              |            |
|-----|----------|--------------|------------|
| 第1回 | 6月27日(木) | 午後7時～午後8時30分 | 舟戸公民館      |
| 第2回 | 6月29日(土) | 午後7時～午後8時30分 | 和見地区多目的集会所 |
| 第3回 | 7月 2日(火) | 午後7時～午後8時30分 | 富山多目的集会施設  |
| 第4回 | 7月 5日(金) | 午後7時～午後8時30分 | 後沢集落センター   |



## 自治功労者表彰

前議員と現議員6名が、2月6日、全国町村議会議長会から永年勤続の自治功労者表彰を受賞し、3月定例会閉会后、小川洋一議長から表彰状が伝達されました。

- |       |            |
|-------|------------|
| 石田 彬良 | 前議員 (元議長)  |
| 岩村 文郎 | 前議員 (前副議長) |
| 川上 要一 | 議員 (元議長)   |
| 大金 市美 | 議員 (元議長)   |
| 阿久津武之 | 議員 (元副議長)  |
| 益子 明美 | 議員         |
- (以上4期15年)
- (以上4期15年10月)



後列左から 阿久津議員、川上議員、大金議員、益子議員  
前列左から 石田前議員、小川議長、岩村前議員

# 常任委員会から意見要望書を提出

関係団体との  
意見交換会から

昨年11月に実施した議会報告会や常任委員会の関係団体との意見交換会の成果として、総務産業・教育民生の両常任委員会からの意見要望をまとめ、2月25日、議長から町長に提出しました。

- 《開催した関係団体》 ◆総務産業常任委員会：町観光協会・馬頭温泉保護開発協会  
◆教育民生常任委員会：老人クラブ連合会

## ◎総務産業常任委員会

(1) 温泉施設の活性化について

地域資源である温泉施設の活性化について、次の2点を要望する。

① ゆりがねの湯が夕焼け温泉としての価値が維持できるように、景観保持のために雑木の伐採をお願いする。

② 2022 栃木国体での周辺市町からの誘客に、温泉宿泊施設のPRに努められたい。

(2) 広域圏公共交通機関について

交流人口の増加のため、広域圏公共交通機関の充実に努められたい。

(3) 定住ガイドブックの作成について

アフターフォローを含めたきめ細やかな定住ガイドブックを作成し、移住定住施策を推進されたい。

(4) 観光都市交流の豊島区からの移住定住に向けた取組みについて

豊島区との交流においては、移

住定住のPRや職員交流などの方を講じて、観光交流のみならず移住定住につながる交流施策を広く拡充するよう検討されたい。

## ◎教育民生常任委員会

(1) 高齢者の生きがいづくりの環境整備について

高齢者が活動できる場を提供し、仲間づくりや社会参加を促して、健康寿命の延伸につながるよう、環境整備の充実に要望する。



福島町長に意見要望書を提出 (H31.2.25)

## 《常任委員会の経過》

### 総務産業常任委員会

開催日 2月1日、5日、19日

企業立地優遇制度について委員間で疑問点や課題を勉強し、理解を深めました。

また、関係団体との意見交換会について協議し、行政区長連絡協議会と行うこととして、当該団体代表に打診することとなりました。

### 教育民生常任委員会

開催日 3月6日

クローバーハーツ癒しの夢工房から提出された「精神障害者に身体・知的障害者同等の福祉サービスの適用を求める陳情」の審査を行いました。

また、常任委員会行政視察について協議し、福島県檜枝岐村を視察することにしました。

開催日 4月19日

常任委員会行政視察について協議しました。



開催日 4月26日

介護保険料の軽減と那珂よし健康ポイント事業についてなど、健康福祉課長から説明を受けました。

《特別委員会の経過》

議会広報特別委員会

開催日 3月26日(第13回)

4月19日(第14回)

4月26日(第15回)

議会だより5月10日発行第55号について、編集を行いました。

議会事務局からのお知らせ

人事異動(4月1日付)により、議会事務局が、次のとおりとなりました。

事務局長(新) 岩村 房行

書記(新、局長補佐兼議事係長) 笠井 真一

書記(新、局長補佐兼庶務係長) 金子 洋子

退任

事務局長 笹沼 公一

書記(係長) 長家佳奈子

議会の運びと内容

平成31年  
2月

- 1日 議会広報特別委員会 (第12回、第54号発行)
- 1日 総務産業常任委員会 (勉強会)
- 5日 総務産業常任委員会 (勉強会)
- 10日 議会だより第54号発行
- 19日 総務産業常任委員会 (勉強会)
- 19日 タブレット端末講習会
- 21日 南那須地区広域行政事務組合議会定例会
- 25日 常任委員会意見要望書を町長に提出
- 25日 全員協議会
- 26日 議会運営委員会 (3月定例会)

3月

- 5日 全国町村議長会自治功労者表彰伝達式
- 5日~15日 平成31年第1回議会定例会
- 6日 教育民生常任委員会 (陳情審査)
- 7日 予算審査特別委員会①
- 8日 予算審査特別委員会②
- 11日 予算審査特別委員会③
- 12日 予算審査特別委員会④
- 13日 予算審査特別委員会⑤
- 14日 予算審査特別委員会⑥
- 15日 全員協議会
- 26日 議会広報特別委員会 (第13回、第55号発行)

4月

- 19日 議会広報特別委員会 (第14回、第55号発行)
- 19日 議会運営委員会
- 19日 全員協議会
- 19日 教育民生常任委員会
- 26日 議会広報特別委員会 (第15回、第55号発行)
- 26日 教育民生常任委員会

令和元年  
5月

- 1日 改元
- 10日 議会だより第55号発行

イチゴ農家

小林 千歩さん  
(北向田)



なかちゃんか  
聞きました。

Q イチゴを作り始めた  
きっかけは?

A 一番下の子供が認定  
こども園に行き出したの  
がきっかけ。何をしよう  
かと思つたときに、ハウ  
スを借りられることにな  
って、そのハウスがた  
またまいちごハウスだつ  
たの。

Q 農業に興味を持った  
のはどうして?

A 実家が、自然食品を  
扱うお店で、動物好きが  
高じて高校は生物生産科  
に入った。高校で農業を  
学び、土いじりが楽しく  
な、大学でも農業を学ん  
だのよ。

Q イチゴ作りもそこ  
で?

A イチゴ作りは学校で  
も習わなかったから、ゼ  
ロからのスタートよ。

Q 今、どのくらいイチ  
ゴを作っているの?

A 去年はハウス3棟  
だったけど、今年は2棟  
にしたの。その分とつて  
も手間をかけているの  
よ。

Q ピカピカで、葉っぱ  
も青々としていて、元氣  
なイチゴだね。

A できる限り農業を使  
わないように心掛けてい  
るからかな。その分、手  
間をかけ、愛情をかけて  
育てているのよ。

Q これからどんなこと  
にチャレンジしたい?

A 今年はおちおとめを  
作っていたけれど、来年  
は需要に応じてスカイベ  
リーを作っていきたい。

Q 千歩さんのイチゴは  
どこで買えるの?

A 道の駅で売っている  
よ。あとは、イタリアン  
レストランでイチゴミル  
クジエラードに使われて  
いるわ。

したりするのが大変か  
な。自然が相手だから、  
休めないしね。

Q やつてよかつたな  
と思う瞬間は?

A 「あなたのイチゴが  
大好きなんです。」と言っ  
てもらえた時には、やつ  
てよかつたなあとと思  
うわ。

Q これからどんなこと  
をしていきたいですか?

A 子供たちがいちご狩  
りに呼ぶことが夢だつた  
の。去年初めてこども園  
のみんなに来てもらつた  
の。遠くから歩いてくる  
姿を見てほんとに来てく  
れたんだと感動したわ。  
今年もやろうと思ってい  
て、できる限り続けたい  
な。



念願の園児イチゴ狩り

議事を傍聴しませんか

皆さんの身近な問題などが審議されます。  
あなたも傍聴してみませんか。

次の定例会は、6月4日 開会

(令和元年第2回議会定例会)の予定です。

議場は、庁舎2階です。

ケーブルテレビ(11ch)で議会が生中継されます。

第1回3月定例会の  
議会傍聴者数

5日	5人
6日	2人
7日	0人
15日	4人

●表紙写真  
いきいき元気の会の  
お花見

(吉田・谷田)

今年吉田の観音寺で行  
いました。冷たい北風にも  
負けず、5分咲きになった  
樹齢300年(推定)の枝  
垂れ桜から更なる元気を  
もらいました。

編集後記

移り変わる季節の中  
で、私は、春が1番  
好きです。色とり  
どりの芽吹きの中  
に山桜、いいですね。  
若葉のころには紫の  
フジが目立ち、濃い  
緑へ。いつの間にか  
ジヨウビタキやツグミ  
の姿が消え、ツバメ  
が飛び交っています。

都会暮らしでは、この  
美しい変化を日常的に  
味わうことができません。  
東京で生活していた私が、  
退職したらやりたかつた  
のが野菜作りでした。

種をまいて苗を育て、  
収穫して種を取る。いつも  
思いつき通りというわけ  
にはいかないけれど、  
実に面白い。採りたて  
をいただき、漬物にも  
する。おすそ分けも  
し、それでも余れば保  
存する。

健康な体を作ってもら  
うために、よくないもの  
は使わない。力仕事もあ  
って汗もかき、考える  
こともあって、体に適  
当な刺激がある。

こんな生活をしてい  
たら丈夫で長生きできそ  
うです。こんな暮らしに  
あこがれる都会人は多  
いのではないでしょ  
うか。

議会広報特別委員会

委員 川俣 義雅

過去の議会だよりはこちらのQRコードで見られます。

那珂川町ホームページ <http://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp/>

